一般的なFormクラスの作成・・・forms.Formを継承して作成する例) class UserForm(forms.Form):

**テンプレートでのFormの表示・・・** {{ form }}として、{% csrf\_token %}と共に表示

{{ form.as\_p }}: でラップ。{{ form.as\_ul }}: でラップ。{{ form.as\_table }}: でラップ。

form = FormClass(request.POST): POSTリクエストをFormの型に変換 form.is\_valid() formの中のフィールドが正しいかバリデーション

フォームのカスタマイズ・・・label=〇〇(ラベルを変更する)。required=True or False(必須かどうかを変更する)。widget=〇〇(表示する形式を変更する)。initial=〇〇(初期値を変更する)。max\_length, min\_length(最大の長さ、最小の長さを変更)。attrs={'placelholder':}: プレースホルダーを追加

フォームにID, クラスを追加・・・①. attrs={'class': '○○', 'id'='××'}として、フィールド作成時に追加する。②. \_\_init\_\_をオーバーライドする、self.fields['フィールド名'].widget.attrs['id'] = 'ID名', self.fields['フィールド名'].widget.attrs['class'] = 'クラス名'

フォームのバリデーション・・・①. clean\_フィールド名のメソッドをクラスの中に追加する。②フィールド作成時にvalidators=[]を属性に追加する。③. cleanメソッドを追加して、複数のフィールドに対してバリデーションを追加する

ModelForm・・・ModelとFormを連携して、モデルへのデータの挿入・更新などを簡素化する

フォームの各要素を表示する・・・{{ form.フィールド名 }}(フィールドの要素を表示)。{{ form.フィールド名.label }}(フィールドのラベルを表示)。{{ form.field.errors }}(フィールドのエラーを表示)

{{ field.non\_field\_errors }}・・・フィールド単体でないエラーを表示する

{{ form.errors }}・・・フォームの持つ全エラー

HTMLの外だし・・・{% include '○○.html' with 変数 %} includeで別のHTMLを表示する(withで値を渡す)

Formset(from django.forms import formset\_factory)・・・複数のフォームを一度に表示して利用する

**ModelFormset(from django.forms import modelformset\_factory)・・・複数の**ModelFormを一度に表示して利用する

ファイルのアップロード・・・MEDIA\_URL(メディアファイルの公開時のURL)。 MEDIA\_ROOT(ファイルの保存先の指定) テンプレートの実装

<form method="post" enctype="multipart/form-data"> • • • </form>

### ビューの実装

myfile = request.FILES['myfile']
fs = FileSystemStorage() # ファイル保存用のインスタンス
filename = fs.save(myfile.name, myfile) # ファイルを保存する
uploaded\_file\_url = fs.url(filename) # ファイルのURL

### Modelを用いたファイルのアップロード # models.py

class Image(models.Model):

picture = models.FileField(upload\_to='documents/') # アップロードするファイルの格納先を保存する(upload\_to='documents/%Y/%m/%d/'とすると、documents/年/月/日で保存できる)

### # views.py

form = ImageForm(request.POST, request.FILES) # 保存するファイルを第2引数に置く if form.is\_valid():

form.save() # ファイルが保存され、ファイルのパスがDBに書き込まれる return redirect('home')

#### #画像を表示する

<img src="{{ user.picture.url }}">